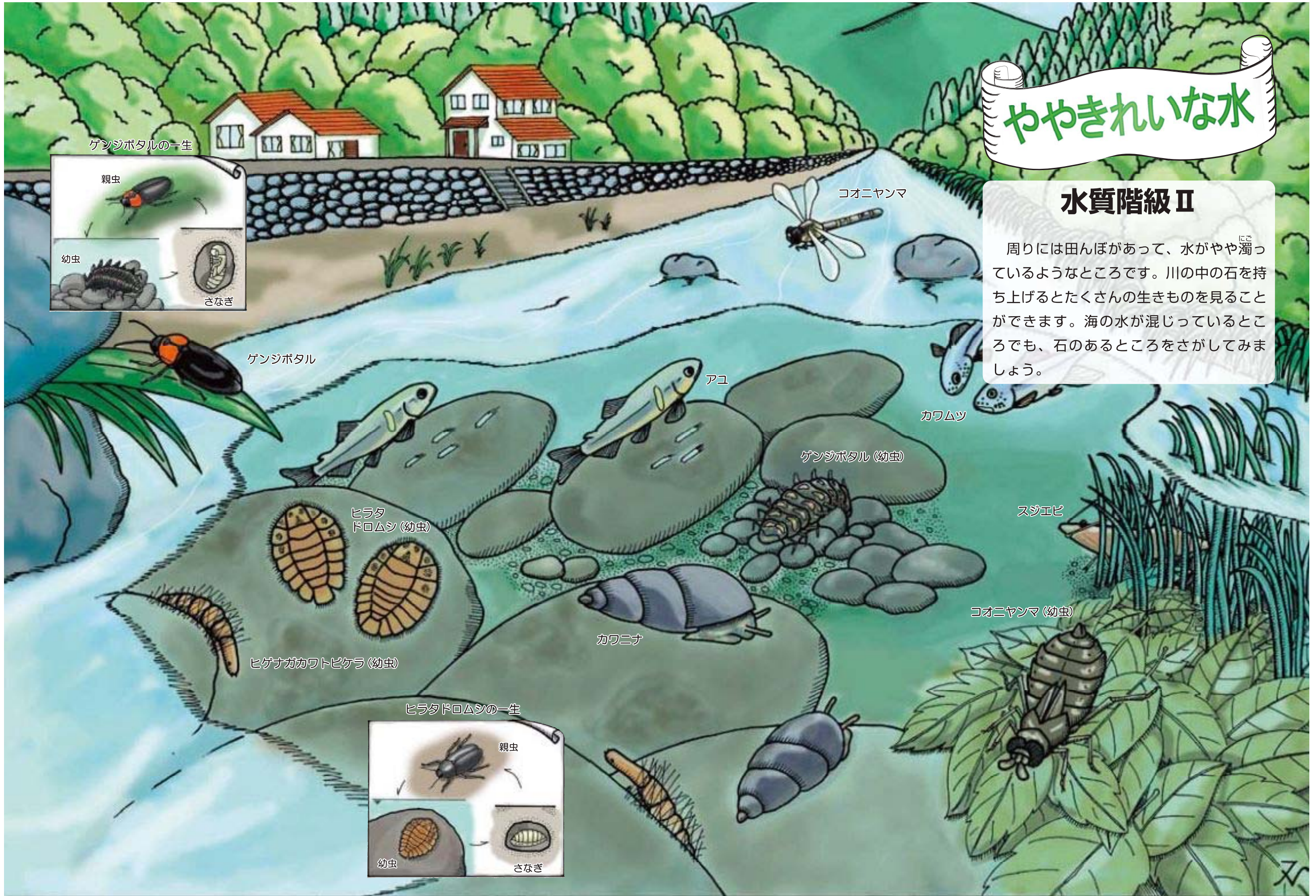
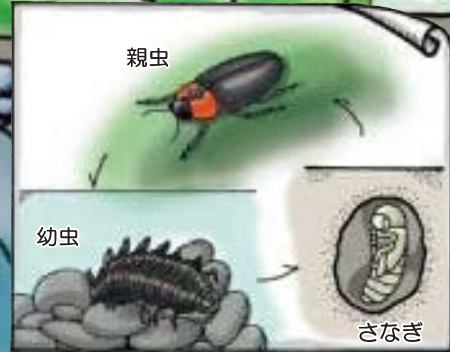


ややきれいな水

水質階級Ⅱ

周りには田んぼがあって、水がやや濁^{にご}っているようなところです。川の中の石を持ち上げるとたくさんの生きものを見ることができます。海の水が混じっているところでも、石のあるところをさがしてみましょう。

ゲンジボタルの一生



ゲンジボタル

コオニヤンマ

アユ

カワムツ

ゲンジボタル (幼虫)

スジエビ

ヒラタドロムシ (幼虫)

コオニヤンマ (幼虫)

カワニナ

ヒゲナガカワトビケラ (幼虫)

ヒラタドロムシの一生



ややきれいな水(水質階級Ⅱ)の指標生物

コガタシマトビケラ類

頭の前縁に小さなくぼみがあるのが特徴で、頭と胸は赤茶色をしている。腹は鮮やかなうす緑色から緑がかった茶色、あるいは茶色など、いろいろな色をしている。



コガタシマトビケラ類

オオシマトビケラ

頭から胸にかけて固く、うすい茶色である。他は茶色から緑色でやわらかく、頭の上部の平たい部分が広いのが特徴。

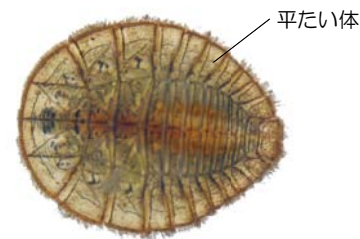
- まちがえやすい生物
- 他のシマトビケラ類とまちがえやすい。



オオシマトビケラ

ヒラタドロムシ類

体は固く、上下に平たい円形か卵形で、色は黄色か茶色。短い足は3対あるが、背の方からは見えない。流れの速い瀬の石の表面にぴったりとついている。

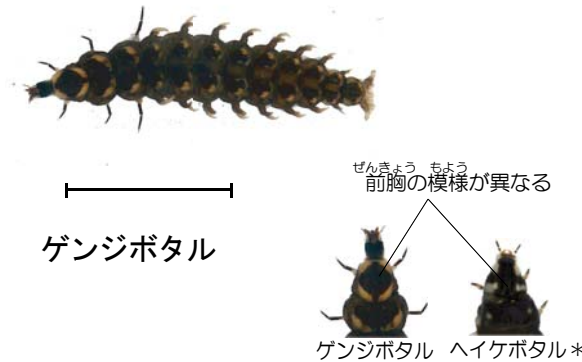


ヒラタドロムシ類

ゲンジボタル

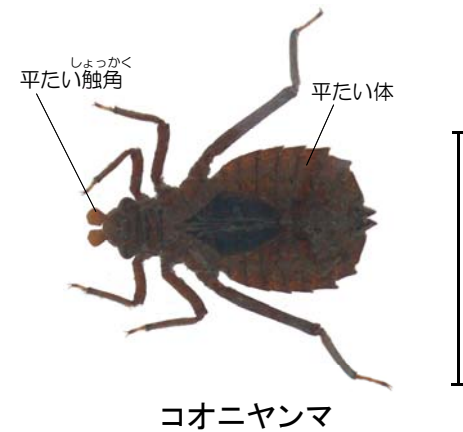
体は黒色で、前胸に、トランプのダイヤの模様がある。

- まちがいやすい生物
- ヘイケボタルはよく似ているが、ゲンジボタルの方が大きい。ヘイケボタルでは、前胸に十文字形の模様がある。

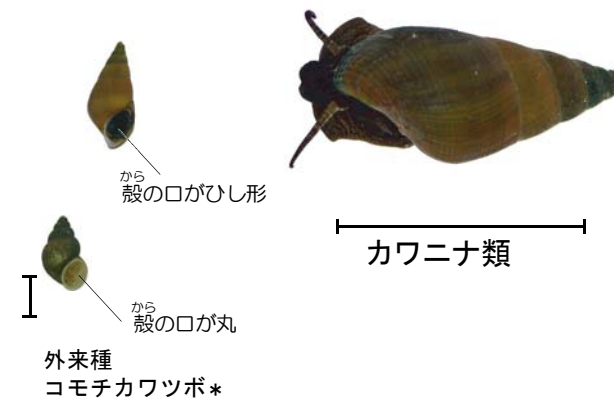


ゲンジボタル

ゲンジボタル ヘイケボタル*

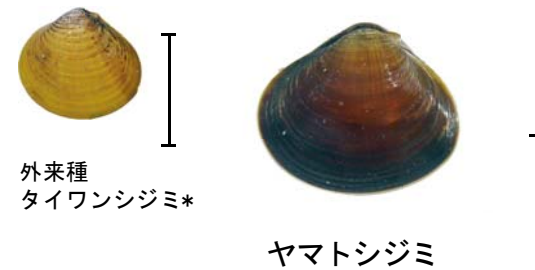


コオニヤンマ



カワニナ類

外来種
コモチカワツボ*



外来種
タイワンシジミ*

ヤマトシジミ

線の長さは実物の大きさの目安です。

*のついている生物は、よく似ていますが指標種(水質判定に使う水生生物)ではありません。

コオニヤンマ

体は赤茶色で薄い平らな広葉状あるいはうちわ状の形をしている。触角の3番目の節がおおきくなり、うちわ形。流れの比較的遅いよどみの底で生活している。

カワニナ類

殻は細く、長い。殻の上部が欠けていることが多い(殻高1.5~3cm)。殻の表面は黄土色またはこげ茶色。石に付着していることもあるが、砂まじりの川底にいることもある。塩分のあるところにはいない。

ヤマトシジミ

二枚貝で、殻は小さいうちは青緑色だが、成長すると黒色になる。主に海水が少し混ざっている汽水域にすんでいる。

- まちがいやすい生物
- マシジミなどとまちがえやすいが、マシジミは淡水にすんでいる。

イシマキガイ

殻は固く、石についている。主に海水が少し混ざっている汽水域にすんでいる。



イシマキガイ